

縣報

第六百廿九號

明治四十年一月十五日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第二號

耕地整理調査設計及工事監督ニ關スル規程左ノ通り定ム

明治四十年一月十日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

耕地整理調査設計及工事監督ニ關スル規程

第一條 明治三十九年六月農商務省令第十八號耕地整理及土地改良獎勵費規則ニ基キ耕地整理ノ施行ニ關シテ、調査設計及工事監督ノ事業ヲ和歌山縣農會ニ委託シテ之ヲ實施セシム

第二條 耕地整理ヲ施行セントスルモノハ本規程ニ依リ整理地區ノ地形調査測量及設計ノ補助ヲ和歌山縣農會ニ申請スルコトヲ得

第三條 本規程ニ依リ地形調査ノ測量及設計ヲ補助スヘキ整理地區ハ面積拾町歩以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ此限リニアラス

第四條 地形調査ヲ申請セントスルモノハ發起人ヲ定メ様式第一號ノ書面ニ地形略圖ヲ添付シテ之ヲ和歌山縣農會ニ差出スヘシ

但シ縣農會ニ於テ必要ト認ムルモノハ申請ヲ俟タズ直ニ調査スルコトアルヘシ

縣報第六百廿九號

明治四十年一月十五日

第三種郵便物認可

一 地形調査ノ結果整理ニ適當ナル地區ト認定セラレタルコト

二 整理地區内ニ於ケル土地所有者三分ノ二以上ノ同意アルコト

三 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地面積整理地區ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

第六條 測量及設計ヲ申請セントスルモノハ發起人ヨリ様式第二號ノ書面ヲ和歌山縣農會ニ差出スヘシ

第七條 地形調査測量及設計ニ要スル費用ハ縣農會チレテ負擔セシム

但測量用夫役及杭木ノ費用ハ其全部又ハ一部ヲ申請者チレテ負擔セシムルコトアルヘシ

第八條 地形調査ハ其地區内ノ狀況ヲ踏査シ且左ノ各項ヲ調査シテ整理ニ適當スルヤ否ヤヲ決定スルモノトス

一 地 勢

二 整理豫定地ノ地目別面積及現形畧圖

三 水源及其ノ灌溉段別

四 排水路ノ現況

五 用水及道路ノ現況

六 整理ニ依リテ得ヘキ利益ノ概要

七 整理費用ノ概算

八 其ノ他必要ト認ムル事項

第九條 測量及設計ハ其ノ他區内ノ地形ヲ測量シ左ノ各項ニ關スル設計ヲ爲スモノトス
一 土功ニ關スル設計
二 灌溉ニ關スル設計

三 排水ニ關スル設計

四 道路、橋梁、樋管、堤及溜池等ニ關スル設計

五 其ノ他必要ト認ムル設計

第十條 和歌山縣農會ヨリ交付セラレタル設計書及圖面ハ同會ノ承認ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス但官廳ニ於テ命令シタル場合ハ此限リニアラス

第十一條 本規程ニ依リ測量及設計ノ補助ヲ受ケタルモノハ其ノ設計書及圖面ヲ交付セラレタル日ヨリ六十日以内ニ耕地整理法第二十二條ニ基キ發起認可ノ申請ヲ爲スヘシ

第十二條 測量及設計ノ申請者ハ整理委員ヲ選任シ整理委員ニ於テ樣式第三號ノ誓約書ヲ作り申請書ニ添付スヘシ

第十三條 本規程ニ依リ測量及設計ノ補助ヲ受ケタルモノノ工事ニ着手シ若シテハ工事完了シタルトキハ其都度速ニ和歌山縣農會ニ届出ヘシ

第十四條 工事施行中ハ縣廳又ハ和歌山縣農會ニ於テ技師員ヲシテ時々其ノ工事ヲ監督セシメ若シテハ指揮セシムルコトアルヘシ

第十五條 申請者ニ依リ監督指揮ヲ爲ストキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十六條 申請者ニ於テ第十條ニ違背シタルトキ又ハ縣農會ノ承認ヲ受ケス第十一條ノ手續ヲ爲シタルコトヲ得

ヤス若クハ期限内ニ工事ヲ完了セザルトキハ和歌山縣農會ハ測量及設計ニ要セル費用ノ全部若クハ一部ヲ辨償セシムルコトヲ得

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樣 式

第 壹 號

耕地整理地區地形調查申請書

一 整理地區所在地

何那何町村何字

一 整理地區面積

何町步

右ノ土地今般耕地整理法ニ基キ整理致度候間地形御調査相成度別紙專圖相添此段申請候也

年 月 日

何那何町村何字

發起人 氏 名 印

同

發起人 氏 名 印

第 貳 號

和歌山縣農會長宛

耕地整理測量設計申請書

一 整理地區所在地

何那何町村何字

一 整理地區總面積 何町步
 一 整理地區地價總額 何拾圓
 一 土地所有者總數 何十人
 一 同意者數 何十人
 一 同意者ノ所有スル總面積 何町步
 一 同土地價總額 何千圓
 右ノ土地今般耕地整理法ニ基キ整理致度候間測計設計御補助相成度尤モ明治四拾年一月和歌山縣令第貳號耕地整理調查設計及工事監督ニ關スル規程ノ條項ハ堅ク遵守可致此段申請候也
 年 月 日

何郡何町村何字
 發起人 氏 名 印
 同 發起人 氏 名 印

和歌山縣農會長宛
 第三減額式
 誓約書
 何郡町村大字何々字何々
 一 田又ハ畑何町何反步
 但何番地外何筆

縣報第六百廿九號 明治四十年一月十五日 第三種郵便物認可 三

右地區今般明治四十年一月和歌山縣令第二號耕地整理調查設計及工事監督ニ關スル規程ニ依リ耕地整理測量設計御補助相成候ニ就テハ該規程ノ條項ヲ遵守スルハ勿論若シ第十三條及第十四條ノ規程ニ違背シタルトキハ測量設計ニ要セシ費用ハ辨償可致仍テ誓約書差出候也
 年 月 日

何郡區何町村何字
 耕地整理委員 氏 名 印
 同 氏 名 印

和歌山縣農會長宛

○和歌山縣訓令第一號

明治三十年九月訓令第三百二十八號縣社以下神社祭式順序及例祭神饌臺敷規定中例祭ノ部「次神饌

ヲ供フ」ノ次へ「次幣物ヲ奉ル(神饌幣帛料ナ)供進スル神社」ノ一項ヲ加フ」

明治四十年一月十一日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敬

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場
縣 社 下 神社務々所

和歌山縣訓令第二號

明治三十年二月訓令第一百十二號縣社以下祭典執行手續左ノ通改正ス

明治四十年一月十一日

和歌山縣知事 伯爵 清 藤 家 敬

縣社以下祭典執行手續

第一條 神社ノ祭典ハ明治三十年九月訓令第三百二十八號ニ據リ執行スヘシ

第二條 明治三十九年四月勅令第九十六號及明治三十九年六月內務省令第二十號ニ依リ神饗幣帛料ヲ

供進スル神社ノ例祭ニハ縣社ヘハ縣官吏郷社ヘハ郡官吏又ハ市町村吏員村社ヘハ市町村吏員ヲ

參向セシム

第三條 神社ノ例祭日ハ變更スルコトヲ得ス但特別ノ事由ニヨリ變更ヲ要スルトキハ知事ノ認可

ヲ受クヘシ

第四條 神社ノ祭典ハ執行七日前縣社ハ知事ニ郷社ハ郡市長ニ村社ハ村長ニ届出ヘシ

第五條 神社ノ祭禮神輿渡御ハ祭日前豫メ警察官署ヘ届出ヘシ

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場
縣 社 務 所
以 下

○觀 測

明治四十年一月十日ヨリ三日間當地氣象概況

種 類	一月十日		一月十一日		一月十二日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六一耗〇	七六五耗六	七五三耗四	七六八耗四	七五九耗二	七七一耗一
平均氣溫	一〇度九	二度〇	一度〇	二度二	四度八	三度五
最高氣溫	一七度六	四度八	一九度〇	五度〇	七度七	七度七
最低氣溫	二度〇	〇度二	七度〇	〇度一	氷点下〇度五	氷点下〇度一
最多風向	南	西北西	北西	北西	北西	北
平均風力	七米三	七米一	六米一	六米五	五米六	二米八
天 氣	曇后雨	晴	曇	半晴少雪	半晴微雲	晴
雨雪量	九耗五	〇耗〇	一二耗九	〇耗二	〇耗四	
記事現象	午前月環	午后時々	夜間降雨	早晚強風	時々曇除	

縣報第六百廿九號 明治四十年一月十五日 第三種郵便物認可

六終

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

月量及日 暈現ル	微雨	及暴風吹 夕	吹キ午后 微雪ス	午前一時 海上風雨
正午過 夕降雨ス				夕警戒ヲ 解除ス
正午及夜 間共ニ強 風吹ク				

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治四十年一月十四日印刷
明治四十年一月十五日發行

〔寄代價〕
金三匁

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目一番地
和歌山市久保町一丁目二十四番地
印 刷 所 天 天 堂 印 刷 局